

乗り心地ダイヤル調整について



どんな時にダイヤル調整する？



- 乗り心地はタイヤ銘柄、タイヤ偏平率、タイヤ空気圧、ホイールインチ数、ホイール重量、道路状況、外気温、乗車人数、積載量等によっても異なりますので、お好みによりダイヤルを調整してください

※運転席に座っている時と後席に座っている時でも乗り心地の感じ方は異なります

※インチアップしている場合はタイヤが薄くなるので純正タイヤの状態に比べ、ゴツゴツと感じる事や、ホイールの重量によってもゴツゴツと感じる事があります。調整で多少の軽減は出来ませんが限りがあります

柔らかくするのはどんな時？

- 冬場はショック内のオイルが硬くなるので乗り心地も硬く感じる場合があります。その際は柔らかくしてください

硬くするのはどんな時？

- 夏場はショック内のオイルがサラサラになり柔らかく感じる場合があります。その際は1～2段硬くしてください
- 高速走行が多い方、乗車人数や積載量が多い場合
- 走行距離が経過し乗り心地が柔らかくなったと感じた場合、調整すると良くなります
- リアが柔らかく感じる場合、フロントだけを1段または2段硬くするだけでもリアの乗り心地が変わります

※フロントとリアの段数を揃える必要はありません

乗り心地ダイヤル調整方法は次のページに記載しています

— 乗り心地ダイヤル調整方法 —



時計回り 硬くなる

反時計回り 柔らかくなる

	フロント	リア
推奨段数	柔らかい方から 1～4段目	柔らかい方から 1～4段目

全20段ほどありますが **推奨位置は『真ん中(10段)ではありません』**

減衰力ダイヤルは反時計回りに緩めて、止まったところから時計回りで「カチッ」と一度クリック感を感じるところが1段目(1番柔らかい状態)となります

柔らかい方からフロント5段以上、リア5段以上締めた状態では硬くなるので通常は使用しません
 ショックへの負担が大きくなるので最初から10段以上締めた状態で使用すると破損の原因となります

【注】ダイヤルはあまり力を入れて回さないでください。

時計回りに締める場合、構造上規定段数以上に回ることがありますが回さないでください。内部部品が破損します

「フロントダイヤル位置」

エンジンルーム奥のダンパー上部



「リアダイヤル位置」

室内サービスホールカバーを取外した所のダンパー上部

